

令和3年度(2021年度) 学校法人福島聖心学園各幼稚園の事業報告書
【小名浜白百合幼稚園】

当幼稚園における令和3年度事業内容につきまして、下記のとおり報告いたします。

1. 項目別

| 項目 | 計画(=Plan) | 実行(=Do)／ 評価(=Check) | 改善(=Action) |
|------|---|---|--|
| 教育目的 | <p>この幼稚園は学校教育法第22条及び23条に従って幼児を保育しキリスト教に基づき、幼児に適当な生活環境を与え、心身の正しい発達を助長すると共に、道徳的心情、将来の善良なる社会人の健康と特性との基礎を作り家庭教育を補うことを保育の目的とする。</p> <p>昨年に引き続きコロナ対策に重点を置き、園児、保護者、さらに職員の安全安心を確保し、変化する生活や行事であっても子どもたちが仲間と楽しく生き生きと自己発揮できる内容にすべく、全職員が知恵を出し合い工夫する努力を重ねたい。</p> | <p>本園は子どもとの生活の中で「感動する心、感謝する心、祈る心、共に生きる力」を育てる心の教育を目標とし、園児一人ひとりが安心できる居場所となるよう、寄り添い認める保育をし、更に生活習慣を身につけさせると共に集団での遊びが充実する保育を行った。</p> <p>教育目標である心の教育を達成するため、職員間での共通理解を深める努力をした。</p> <p>またコロナ禍の中、園児一人ひとりが心身ともに健やかに成長するために、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として下記の通り実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●非接触検温器(床置き型サーモチェッカー)導入 ●センサー式手指消毒機器導入 ●空気清浄機導入 ●基本的習慣(検温、手指消毒、マスク着用、備品・玩具等の消毒作業)の徹底を図り、安全安心を重視し園児の健康管理に努めた ●職員間の連携、共通理解を重ねると共に、問題等の問い合わせ及び指示を主幹に一本化したことで混乱なく情報を精査できた | <p>令和4度についても、同様の方針で教育目標に沿って保育を進めて行く。</p> |

| | | | |
|----------|--|--|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●各家庭での感染防止・健康管理の徹底 ●園児の日々の生活、遊び、行事等の見直しを繰り返し行い、職員の知恵と工夫により、安心安全の中で仲間と楽しく充実した園生活を送ることが出来た。 | |
| 年間行事について | <p>積み重ねと継続を大切に、各種行事を挙行する。</p> <p>予定の詳細については、各幼稚園の年間行事予定表を作成及び公表する。</p> | <p>別紙、年間行事予定表に沿って行事を行い、保護者からも子どもたちの成長に対し評価をいただいた。</p> <p>尚、年間を通して新型コロナウイルス感染拡大防止策「子どもの命を守る」を最優先に掲げ、創意工夫をしながら可能な範囲で行事を最大限実施した。</p> <p>保護者参加は限定したが、Youtubeライブ配信を試み、子どもたちの配信ならではの様々な表情を伝えることが出来、保護者より高い評価を得た。</p> <p>出来る限り園児中心の行事を工夫し、知恵を出すことにより、どの行事も園児・保護者・職員が満足した笑顔になった。</p> | <p>令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大防止策を第一優先に掲げ、行事を実施することになる。</p> <p>柔軟な発想と対応策をもって子どもに寄り添い考え、何が子供の成長に大切なのかを日々考えながら、限られた環境の中で教育提供を行っていく。</p> |
| 新規事業について | ①ホームページ改修 | <p>従来のものを解約し、新設した。広報面を充実させるため、お知らせや公表事項を簡易に行えるよう設計した他、新たにブログを併設し、保護者へ向けて園内での園児の様子や行事風景を閲覧してもらえるようにした。</p> <p>入園案内についても、必要経費等をわかりやすく表記することによって透明性を担保できるものとなり、保護者から良い評価を得た。</p> | <p>今後も同様に、地域や保護者へ向けて必要な情報を速やかに発信できる運用に努める。</p> |

| | | | |
|--------------|---------------------|---|--|
| 新規事業 について | ②ウッドデッキ東側ロールスクリーン設置 | 年長さくら組東側(鹿島街道側)の遮光や防犯対策のため設置した。 特に夏季について、東側からの視線を遮る効果があり園児の着替え安心して行えたり、強い日差しを遮ることで熱中症対策を効果的に行うことが出来た。 | 必要に応じてこまめにスクリーンを下げ、熱中症対策や防犯対策として活用する。 |
| | ③防犯カメラ増設 | 従来の防犯カメラシステムに1台増設した。 園庭東側の大型遊具の死角を可能な限りなくし、事件事故が起きた際には、検証により役立つ画角とすることが出来た。 | 事件事故はいつ起こるとも予測できないため、有事の際には早期解決のため有効に活用する。 |
| | ④砂場の砂交換 | 衛生保全と砂質向上のため実施した。 石、落ち葉等の異物が無くなり衛生面が向上した他、従来より粒子の細かい砂質となり、手になじみやすくなったことから、より良い保育の提供に貢献することに繋がった。 | 今後もシートを使用し、異物はこまめに取り除きながら、砂質維持・保全に努める。 |
| | ⑤大型遊戯下クッション材吹き付け工事 | 園児の落下による怪我防止のため実施した。 工事実施後、落下事故は見られていないが、踏み込んだ感触も柔らかく、万が一園児の落下があっても効果が期待できるものとなった。 | 安全第一を最優先に、遊びの見守りや援助を引き続き行っていく。 |
| | ⑥リトミック指導の導入 | 園児の情操教育のため導入した。 音楽を基盤にしているが、音楽学習にとどまらず一般教養の一体系の教育であり、音楽遊びを通して精神的・知的成長に欠かせない向上心、自立心、創造力や共感力を高めていくことを真のねらいとしており、より質の高い保育を担保するものと期待できる。 講師からも、月を追うごとに園児たちに良い変化が見られているとの評価があった。 | 令和4年度も継続し、質の高い保育を提供する。 |

| | | | |
|--------------|-----------------------------|---|------------------------------------|
| 新規事業 について | ⑦電話機(園内一式)交換 | 機器の経年劣化が顕著にみられるため交換した。 従来とほとんど使用方法も変わらず、問題なく運用できている。 | 今後も破損等のないよう維持管理に努める。 |
| | ⑧園バス位置確認システム導入 | 事故や災害時の対策用として導入した。 各バスのルート(自宅地点の登録等)の作成方法が煩雑であったため作業が滞ってしまい、本格運用するのが遅くなってしまった。各職員が使用方法やルート更新方法を理解してシステムを運用できており、事故や災害があった際には有効に活用できると期待できる。 | ルート変更等の際のデータ更新を滞りなく実施し、活用に努める。 |
| | ⑨玩具殺菌庫の購入 | 他の方法により衛生保全が出来ると考え、見送ることとした。 | |
| | ⑩職員研修 (発達障がい児の理解と対応について) | 園児により一人ひとり症状や対応方法が異なることから、講師に実際の現場の様子を見ていただき、実態に即した講義内容にしていただいた。 園児への対応と共に、保護者との対話の仕方にも細心の注意を払うことが必要とされる中、有意義な研修を受けることができ、職員の資質向上に大いに貢献した。 | 令和4年度も同様の研修を受け、保育の質と共に職員の資質向上に努める。 |
| | ⑪ワイヤレスアンプ一式購入 | 教育環境整備の一環として購入した。 園内外で使用できる持ち運び型のもので、園舎据付型の従来の放送機材より使用方法も易しく、また様々な形状のメモリやBluetoothにも対応しており、行事の際に手軽に使用することができた。 行事の内容によって、据付型の放送機材と使い分け活用している。 | 今後も破損等のないよう維持管理に努め活用していく。 |

| | | | |
|--------------------------------------|---|---|--|
| 新規事業 について | ⑫交通誘導員の配置 | 地域の方より、朝のドライブスルー時、入庫する車両のため駐車場入り口付近にあるY字路から合流ができず迷惑しているとお叱りを受け、交通誘導員を配置した。直進車両、園への入庫車両、Y字路からの合流車両を適切に誘導できるようになり、地域の交通安全を害することなく園児受け入れをすることができた。 | 今後も引き続き誘導員を配置し、交通安全に努める。 |
| | ⑬屋上階段改修工事 | 一時避難場所である屋上へ入る階段(園児用踏み台)が経年劣化により破損したため、改修工事を行った。 従来は木製の踏み台で劣化が激しかったため、金属製のステップを設置し、長く安全性が続くものとなった。 | 今後も維持管理に努める。 |
| | ⑭清掃業務委託 | 年末の清掃業務を委託した。職員の限られた勤務時間の中で行き届きにくかった清掃業務を委託することにより、職員の残業の縮小に繋がっただけでなく、専門性の高い業者に委託したことで園舎の衛生保全に大きく寄与するものとなった。 | 質の高い衛生保全が期待できることから、令和4年度から日常の清掃業務も合わせて委託する。 |
| 職員の 質向上に ついて (研修等への 参加含) | 園内外の研修に参加し、保育の質の向上に力を注ぐ。 聖書からの心の糧を養う研修に参加する。 特別支援を要する幼児の保育向上にも力を注ぐ。 動物など自然とのふれあい事業を通し、命の大切さ、動物との関わり方などを学ぶ。 避難訓練、防災訓練、交通安全教室を通し、危機管理に係る知識を深める。 | 研修を通して職員間の共通理解を深め、保育の質の向上を図ることが出来、より一層保育の充実に繋がった。 また、園児募集の志願者数にも反映されている。 | 新型コロナウイルスの影響で研修時期や方法が変更となる可能性もあるが、今何ができるかを職員一人ひとりが良く考え、自己研修を行い進めていく。 |

| | | | |
|-----|--|--|--|
| その他 | | | |
|-----|--|--|--|

2. 総括

- 前年度の反省を踏まえ今年度から給食費を実費徴収とした。
- 「目的」の項目での記述の通り、コロナウイルス感染症については、園児・保護者・職員の命を守るべく尽力し休園等がなかったことに胸を撫でおろした。
- 非接触検温器、園児用足踏み式手指消毒器、センサー式手指消毒器、空気清浄機等を導入できた。
- 日々の保育、行事等は、学年毎またはクラス毎での取り組みを行い、保護者の来園人数制限をすることで全て行うことが出来た。
- 参観日や講演会のライブ配信を実施した。参観日では保護者がいない時の子どもたち様子を配信で知らせた。その結果、「友だちとの関わり」にほっこりしたり、「ちゃんとやっている姿」に安心したり、我が子の成長に感激したとの言葉をたくさんいただいた。
- 新設したホームページでは、入園募集や教育目標の提示に留まらず、保育内容や園児の様子についてたくさんの写真を掲載して、広く伝えられるものとなった。さらに初めての試みであるブログも併設し、保護者のみが閲覧できるようパスワード制限を設けた上で、日々の様子や行事などを保護者に知らせることが出来るようになった。
- 発達障がい児を受け入れ健常児と共に生活することで、互いに助け合う姿、尊重する姿、認め合う姿が育っていることを実感できることに喜びを感じる保育補助及び支援員が必要である。
- 職員が「何を大切にするか」を考え、思い、共通理解し実践している。また、保護者は園を信頼してくださり、理解、協力してくださることが、園運営、コロナに関する事、保育・行事に関する事全てが予定通り行えた要因だと思う。
- 事務局により、コロナ関連機器設備等や補助金手続、また学園としての危機管理連絡網の設置及びスマートフォン契約や、コロナ感染・接触等に係る就労体制の構築等を整備していただいたことにより、混乱なく園運営を行うことが出来た。
- 「出来ない」と排除せず、「出来ること」を「出来るだけ」「出来る時に」「出来る人が」行うために、知恵と工夫で壁を乗り越えてきた。今後も、園児、保護者、職員の安心・安全・健全の確保の強化を図り、保護者や地域の皆様から心からの信頼を得られるよう努力したい。

カトリック幼稚園で働く者として、會津神父様より神さまの教えを学び、職員たちが助け合う姿、美しい言葉で語り合う姿を見せていけるよう努力します。